

日産車体株式会社 投資家向け質疑応答概要（2024 年第 1 四半期分）

.....

Q. 第 1 四半期の決算概況について

A. 第 1 四半期の生産台数は、前年比で 6 千台のマイナス。今年度に立ち上がった QX80 が増加したが、パトロール、AD、NV200 バネットが今後、新型に入れ替わるタイミングであり、需要の落ち込みによる減産となった。また、INFINITI ブランドという高品質なクルマの立ち上げに工場の稼働率が計画より伸び悩み、収益については、前年比 10 億円のマイナスで 20 億円の損失。純利益も 14 億円悪化の 13 億円。ただし、業績修正のレベルではない。

Q. 第 2 四半期以降の新車効果について

A. 第 2 四半期以降は新車の効果が出てくると思われる。年度を通して聞いてくるのは来年度以降の見込み。